



広報

つがる

2008
6月号
No.78

市の人口と世帯数(平成20年6月1日現在)人口38,591人(男18,418人・女20,173人)世帯数13,390世帯



地域にこだまするメモリアル鼓笛パレード

—地域に支えられてきた児童たち、「ありがとう」を込めて—

繁田小学校【関連9ページ】

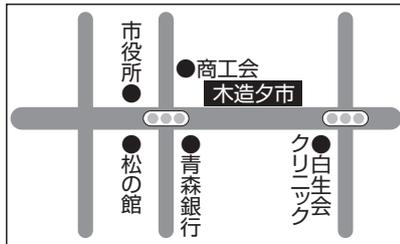
食の安全「地産地消」を進めよう

市内の産地直売所を訪問 ②

木造夕市の会



「木造夕市」は商工会前の駐車場で開かれており、6月から10月までの毎週月曜と木曜に開催しています。品揃えは豊富で旬の野菜、漬物、自家製大豆とうふなどの加工品は特に人気があります。8月にはお盆セール、12月には年末セールを開催する予定です。



営業期間：6月から10月までの
毎週月・木曜日の週2回
営業時間：午後3時～4時30分
連絡先：42-2663 八木橋宅

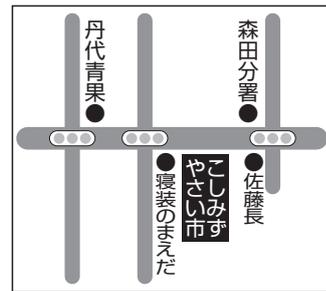
つがる市では基幹産業である農業の振興を目指すため、米・りんご・スイカ・長いも・ねぎ・ごぼう・トマト・メロンの8品目を市のブランド化推進農産物としています。広報つがる5月号では、道の駅もりた「おらほのめへ」、つがる市柏特産品直売所、むらおこし拠点館「フラット」を掲載しました。
今月号では農家が丹精込めて作った新鮮な野菜や果物、加工品等を販売している木造夕市の会、こしみずやさい市、まごころ市を紹介いたします。

こしみずやさい市



「こしみずやさい市」で販売されている野菜の苗は、すべて無農薬で栽培されています。販売されている野菜は100円から300円前後で売られ、安さと新鮮さを売りにしています。

営業期間：5月から11月20日頃
まで（年中無休）
営業時間：午前6時～午後3時
連絡先：46-2215
JAつがるにしきた つがる支店



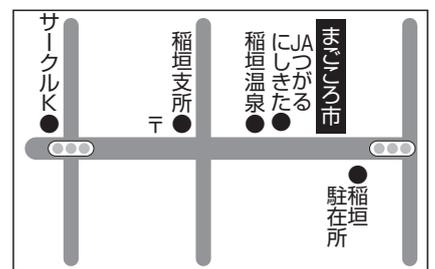
まごころ市



営業期間：5月中旬から11月末まで
営業時間：月・水・金は午前6時から午後4時、
日曜日は午前6時から正午
連絡先：46-2215
JAつがるにしきた つがる支店

「まごころ市」はJAつがるにしきたつがる支店の駐車場内にあり、朝6時から営業しています。

常連客は開店と同時に訪れ、新鮮な野菜を買い求めて行くそうです。



「ごみ」のない美しいまちづくり

市内各地で

清掃奉仕

①伊藤鉦業

5月2日、伊藤鉦業の社員約60人が乾橋から森田駐在所までの国道101号線沿いを清掃奉仕しました。社員はごみ袋と火ばさみを手に歩道等に捨てられているたばこの吸い殻や空き缶等を拾いました。



②木造コミュニティ実行委員会

5月10日、木造地区で木造コミュニティ実行委員会主催による「春のごみゼロ運動」が行われ、約200人の市民が参加しました。木造地区全域で行われた運動は、明るく住みよい街づくりを目指して取り組んでおり、この日も朝6時からごみ拾いを行いました。



③森田町自治会

4月28日、森田町で自治会主催の「クリーン作戦」が行われ、市民ら約700人が参加しました。参加者は沿道に投げ捨てられたごみを拾い、側溝の泥上げ作業等を行い、町内をきれいにしました。



④丹代青果

4月28日、森田町の丹代青果の従業員や関連会社の社員ら約110人がボランティア奉仕の一環として清掃活動を行いました。

参加者はJR森田駅周辺や道の駅「アーストップ」から森田分署までの国道101号線沿いを清掃しました。

⑤稲垣子ども会育成連絡協議会

4月20日、稲垣子ども会育成連絡協議会が環境美化運動の一環として、空き缶拾いを行いました。沼館地区では子ども会、老人クラブ、保全会等の約80人が参加し、歩道や防雪柵周辺などの空き缶等を拾い集めていました。

⑥稲垣中学校

5月12日、稲垣中学校1年生37人が環境保全の大切さを認識するため、ごみ拾いを行いました。生徒は岩木川河川の土手沿いに捨てられている瓶、缶、ペットボトル等を分別しながら集め、軽トラク1台分のごみを拾いました。

⑦車力警察官駐在所連絡協議会

4月19日、豊富町で車力警察官駐在所連絡協議会が「第5回クリーン作戦in車力」を行いました。清掃を行ったのは、交通指導隊、防犯指導隊、車力中学校生徒ら約70人で、フラット前から車力漁港周辺までの約5キロを清掃しました。

⑧牛潟地区子ども会育成会

5月3日、牛潟地区子ども会育成会と保全会ら約70人が環境美化教育の一環として、ごみ清掃奉仕活動を行いました。参加者は牛潟橋周辺の農道沿いに捨てられている空き缶、ビール等を拾い集め、集めたごみは4tトラック2台分にもなりました。

第3回全国高校生



かるたグランプリ

全国の強豪に挑んだ木造高校 4位入賞

5月4日、5日の2日間「第3回全国高校生かるたグランプリinつがる市」が生涯学習交流センター「松の館」で開催され、小倉百人一首競技かるたの全国トップチームが熱戦を繰り広げました。

今回参加したチームは、筑紫女学園高校（福岡）、膳所（ぜぜ）高校（滋賀）、静岡雙葉（ふたば）高校の強豪校、千葉、神奈川、福島、岩手の各県選抜チームと東北一の実力校である地元木造高校の8チームで、1チーム5人の総当たりリーグ戦で行われました。

小倉百人一首競技かるたは、札の読み手が上の句を読み下の句が書いている1枚の札を一瞬で取り合うことから「畳の上の格闘技」と言われており、訪れた観客は迫力ある戦いぶりに魅了されていました。

8チーム総当たり戦の結果、膳所高校が7戦全勝という見事な成績で初優勝し、惜しくも木造高校は4位入賞という結果に終わりました。

木造高校競技かるた部の相場由加里主将（3年）は「7月の全国高等学校選手権大会、8月の全国高等学校総合文化祭では、優勝できるように自分たちの弱点を鍛え直し、全国大会に挑みます」と決意を新たにしています。



初優勝を喜ぶ膳所高校の選手

第3回試合結果

- 優勝 膳所高校（滋賀）
- 準優勝 神奈川選抜
- 第3位 静岡雙葉高校
- 第4位 木造高校



集中力を高め、精神統一をする相場由加里主将（3年）



4位入賞を果たした木造高校競技かるた部の選手

（第3回大会を振り返って）
 木造高校競技かるた部
 相場由加里主将（3年）

今回は最初の出だしから自分たちのペースをつかめず前半戦が終了してしまい悔いが残りました。

後半戦で何とか自分たちのペースを取り戻しチームからも声が出始め、かるた部のスローガン「明るく・楽しく・元気よく・強気で」が発揮できました。

7月、8月の全国大会までにはどんな時でも平常心を保ち、会場の雰囲気にもまれないよう一人ひとりが精神面を鍛え、全国大会優勝を目指してがんばります。



白熱した試合を展開する木造高校チーム（写真左）



オリジナルTシャツで大会に挑む神奈川県選抜チーム